

日中国交正常化 45 周年記念



## 公演資料

(調整中)

2017年6月21日(水)～7月2日(日)

東京／大阪／名古屋

主催

日本経済新聞社

NPO 法人京劇中心ほか

2017年1月現在



色とりどりの晴れ着から鎧に装いを変え  
楊家三代にわたる嫁姑たちは武将となって出陣する

## 企画概要

■公演名 日中国交正常化45周年記念  
京劇「楊門女將2017」 天津京劇院日本公演 (日本語字幕あり)

■会場・期日 【東京】6月21日(水)～6月29日(木) 東京芸術劇場プレイハウス  
【大阪】6月30日(金) NHK大阪ホール  
【名古屋】7月2日(日) 愛知県芸術劇場 大ホール

東京							大阪	名古屋		
6/21 (水)	6/22 (木)	6/23 (金)	6/24 (土)	6/25 (日)	6/26 (月)	6/27 (火)	6/28 (水)	6/29 (木)	6/30 (金)	7/2 (日)
—	13:30	13:30	13:00	13:00	休 演	13:30	13:30	13:30	14:00	15:00
19:00	—	—	17:00	17:00	—	19:00	—	—	19:00	—

上記の開演時間より30分前開場。未就学児童の入場はご遠慮ください。

■出演 天津京劇院 …国家重点京劇院団であり京劇四大拠点の一つ。

■主催 日本経済新聞社(全国)、NPO法人京劇中心(全国)  
公益財団法人都民劇場(東京)、テレビ大阪(大阪)、テレビ愛知(名古屋)

■共催 人民日報社(全国)

■特別協賛 A N A(全国)、新菱冷熱工業(全国)、パナソニック(東京)

■後援 中華人民共和国文化部、外務省、中国大使館、中国文化センター、(公社)日中友好協会、  
日本国際貿易促進協会、(一財)日本中国文化交流協会、日中友好議員連盟、  
(一財)日中経済協会、(一社)日中協会、(公財)日中友好会館、  
(公社)国際演劇協会日本センター(以上全国)  
(一社)日中経済貿易センター(大阪)、(一社)東海日中貿易センター(名古屋)

■協力 西武鉄道(東京)、東武鉄道(東京)

■派遣 中国対外文化集团公司

■情報公開 2月6日(月)より

■料金 【東京】全席指定 8,800円(税込)  
【大阪・名古屋】全席指定 S席 8,800円 A席 7,700円(税込)

■前売 チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス他  
2月18日(土)10:00AMよりスタート

■お問い合わせ 京劇公演事務局(楽戲舎内) 03-5281-8066/0120-80-5560  
東京都千代田区猿樂町2-1-16 下平ビル4階 kyogeki@rakugi.net

■HPアドレス <http://www.nikkei-events.jp/>





## あらすじ

北宋、仁宗（じんそう）皇帝の時代。

遼（りょう）、西夏（せいかに）など周辺国の度重なる侵略のため、武門の誉れ高い楊家一族は勇猛な武将らを戦死や捕虜などで失い、残された遺族は女性ばかりとなっていました。

楊家では、戦場に出向いている元帥・楊宗保（ようそうほ）の五十歳の誕生日を祝い、ひときわ華やいでおりました。祖母・佘太君（しゃたいくん）をはじめ、母・柴郡主（さいぐんしゅ）と妻・穆桂英（ぼくけいえい）、叔母・楊七娘（ようしちじょう）たちが集い、息子の楊文広（ようぶんこう）も顔を見せます。

その宴席に、戦場からの使者・孟（もう）、焦（しょう）両将軍がやってきて宗保殉国を報じました。祝いの宴が一変し、楊一族は悲しみに暮れるのでした。

仁宗が葬式に列席し今後の国の方針を論議します。大臣・王輝（おうき）は和睦を主張し、大臣・寇準（こうじゅん）は戦闘を主張、佘太君と穆桂英は従軍出征を志願しました。仁宗は当年百歳となる佘太君を元帥に起用し、先陣の將軍を穆桂英に命じるのでした。そして、楊文広も少年將軍として威風堂々と参戦し、楊家一族の女性將軍が揃って出陣します。

西夏王・王文は女と子供のひ弱な集団だと高をくくり、勢いに押されて大敗を喫します。そこで王文は詭計をめぐらし楊文広を誘い出すのですが、佘太君はその裏をかいて穆桂英母子を葫蘆（ころ）谷に入らせ、栈道を探し出し、敵軍を挟み撃ちにしようとしています。

知力、武力を総動員して立ち向かう、楊家の女性將軍たちの運命やいかに…。





## 『楊門女将』——戦う女性の愛と悲しみ

(2006年京劇 楊門女将～楊家の女将軍たち～プログラムより抜粋) 加藤 徹 明治大学教授

京劇『楊門女将』は、「楊家将」の物語の一部である。

いまから千年前、日本では清少納言や紫式部が活躍していたころ。中国では、漢民族の王朝である宋が、北の異民族の軍事的侵略に苦しんでいた。

宋は経済大国だったが、軍隊は弱かった。宋軍のなかで、例外的に強く、敵国と勇敢に戦ったのが「楊家軍」だった。楊家は、昔の日本で言えば武士にあたる世襲軍人の一族である。もともと楊一族は、宋の敵国だった北漢の忠臣であった。宋が北漢を併合し、中国を統一したあと、楊家軍も宋軍の一部に編入された。宋の皇帝は楊一族を信頼したが、高級官僚や職業軍人たちは楊一族の人気に嫉妬し、その卓越した武力を警戒した。楊一族はいわば外様(とごま)であり、二級市民であった。

楊家の男たちは、祖国・宋のために、勇敢に戦った。彼らは、常に二つの敵と戦わねばならなかった。眼前の外国軍と、背後の宋国内の嫉視である。初代の楊業(?-986。楊継業ともいう)とその息子たちは、宋軍の先鋒として、異民族である遼(りょう)の軍隊と勇敢に戦ったが、彼らを嫉妬する宋軍の司令官の策謀によって死地に送られ、無念の最後を遂げた。

生き残った楊家の男たちは、それでも、祖国のため、民の平和を守るために、戦場へと向かった。男たちが次々に戦死すると、未亡人や娘たちが女だてらに武器を手にとり、その志を継いだ。彼女たち「楊門女将」の中心となったのは、楊業の未亡人である佘太君と、楊業の孫の嫁である穆桂英であった。——

「楊家将」の物語は、歴史に実在した楊一族の事跡をもとに生まれた。長い歳月をかけて、芝居や講談で演じられていくうちに、しだいに話がふくらみ、現在の形になった。

今日の歴史学者は、穆桂英のモデルは、楊家に嫁として入ったタングート族ないし鮮卑族の女性「慕容氏」であろう、と推定している(中国語では「穆」と「慕」は同音)。佘太君(史実では「佘」と近音の「折氏」)も、史実では、非漢民族の血を引く中国人であつたらしい。そんな彼女らが、中国で最も人気のある愛国英雄として語り告がれてきた。多民族国家・中国の、ふところの深さを感じる。

いつの時代でもそうだが、ふだん社会の甘い汁を吸っているエリートや特権階級は、国が危機に瀕したとき、必ずしも勇敢には戦わない。むしろ「二級市民」や庶民のほうが、純粋な愛国心を持ち、血と汗を流して戦う傾向がある。

「楊家将」は、そんな民衆の思いを代弁する物語である。日本では、北方謙三氏の歴史小説『楊家将』(吉川英治賞受賞作)および『血涙～楊家将後伝～』(月刊『文蔵』連載中)で、ようやく知られるようになった「楊家将」だが、中国では、むかしから「三国志」や「水滸伝」と並ぶ人気をもっていた。

「三国志」や「水滸伝」に出てくる戦争は「内戦」だが、「楊家将」は熾烈な民族間戦争である。しかも「楊家将」には、祖国愛と家族愛の矛盾、二級市民の苦悩など、ドラマチックなエッセンスが詰まっている。

京劇『楊門女将』では、色あざやかな甲冑に身を固めた楊家の美女たちが、舞台上に勢揃いする。その凛々しいあでやかさは、京劇の数ある演目のなかでも、他に類を見ない。

京劇の女優にとって、穆桂英は、演ずるのが最も難しい役柄の一つである。

女優が重い甲冑の衣装を身につけ、しかも豊かな胸をきつく締めて立ち回りをするのは、男優以上に大変である。また穆桂英の唱も、繊細と力強さの双方が要求される。





## 俳優紹介



### 主演

穆桂英 役 王艶 ワン・イエン

国家一級俳優

天津京劇院実験団団長

チンイー ホワシヤン  
青衣、花衫

青衣は唱を主とする女性役で良妻賢母の人物が多い。  
花衫は青衣に立ち回りのように激しい動きも兼ね備える。



- 1995 天津芸術学校卒業。研修の後に天津京劇院へ。
- 2001 全国京劇優秀青年俳優コンクールで《断橋》で一等賞受賞。
- 2002 中国京劇優秀青年俳優研究生班で学ぶ。
- 2004 第4回中国京劇節、大型新編京劇《媽祖》で、優秀演技賞受賞。
- 2005 CCTV全国青年京劇俳優テレビコンクールで金賞を受賞。
- 2011 《謝瑤環》で、第25回中国戯劇戯曲梅花賞（首席）受賞。
- 2013 中国芸術節で“文華演技賞”

「王艶は扮装姿が端正で美しく、歌声はさわやかでつやがあり、まろやかである。」

「演技は細やかで、真に迫っている。文武両道に長けている。」

「王艶の舞台芸術は今まさに日々成長している。」

など、いま演劇記者たちの注目を集める京劇俳優だ。





## 俳優紹介

ようしちじょう  
楊七娘役 許佩文 シュー・ペイウエン

刀馬旦(ダマダン) 鎧の衣装で小道具を扱う立ち回りと唱を主とする女性役。

王艶と学生時代より同期でともに研鑽を積んできた。穆桂英役もこなすベテラン。



しゃたいくん  
佘太君役 魏玉慧 ウェイ・ユーフイ

老旦(ラオダン) 壮年以上の女性役でパワフルな唱が特徴。

昨年 18 歳で天津京劇院に入ったばかりで大役に抜擢された大型新人。百歳の女性元帥を熱演。



ようぶんこう  
楊文広役 王 一 ワン・イー

武生(ウシヨウ) 立ち回りを主とする男性役。

少年・文広役は本来女性が演じるがヨーロッパ公演の際に抜擢され好評を得た。



しょうえんき  
焦延貴役 王嘉慶 ワン・ジアチン

浄(ジン) 隈取をするエネルギッシュな男性役。

文武両道に優れ、潜在能力を発揮して多彩な役をこなす国家一級俳優。







## 登場人物



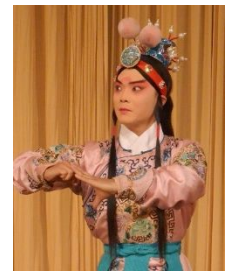
余太君  
 しゃたいくん  
 七男二女と一養子があり、  
 夫を亡くしてからは楊家を  
 束ね、ついには百歳の女元  
 帥となる。

楊七娘  
 ようしちじょう  
 余太君の七男・楊七郎の妻。  
 この出陣では  
 副先行將軍となる。



穆桂英  
 ぼくけいえい  
 余太君の孫で楊家の血を引  
 く最後の元帥・楊宗保の妻。  
 夫に代わり国を守って先行  
 將軍となる。

楊文広  
 ようぶんこう  
 楊一族で唯一の男子  
 となった、  
 楊宗保と穆桂英の1人息子。  
 少年將軍となって出陣。



焦廷貴  
 しょうていき  
 楊宗保の殉死を知らせに辺  
 境から戻る將軍。

孟懷源  
 もうかいげん  
 楊宗保の殉死を知らせに辺境  
 から戻る將軍。



王輝  
 おうき  
 和睦を主張する  
 北宋の大臣。

宋仁宗  
 そうじんそう  
 北宋の皇帝。

寇準 こうじゅん  
 出征を主張する北宋の大臣。



王翔  
 おうしょう  
 王文の息子。

王文  
 おうぶん  
 辺境を侵す西夏王。

魏古  
 ぎこ  
 西夏の軍師。



## 天津京劇院紹介

1956年に成立した天津京劇院は、中国国家重点京劇院団であり国家無形文化遺産の保護機関でもある。現在、一団と実験団、元声京劇坊工作室（京劇元来のマイクを使わない上演形式を創作）という構成。



天津京劇院には中国戯劇梅花賞受賞者9名、梅蘭芳金賞受賞者3名が所属しており、これまで創作した演目は輝かしい実績を残している。現代京劇《華子良》は文化部第二回保存演目大賞、文化部第十回“文華大賞”を受賞。《護国将軍》は第五回中国京劇芸術節金賞を、《媽祖》（主演：王艷）は中央宣伝部第十回精神文明建設“五つのプロジェクト”優秀作品賞を、《香蓮案》は第六回中国京劇芸術節一等賞を受賞し、国家舞台芸術優秀演目プロジェクトの支援演目に選ばれ、第十四回文華賞優秀演目賞を受賞した。2014年、新編京劇《康熙大帝》は第七回中国京劇芸術節で好評を博し、整理加工演目（伝統演目のリニューアル版）《乾坤福寿鏡》（主演：王艷）は国家芸術基金2015年度支援演目に選ばれた。

天津京劇院の若手俳優とベテラン俳優は、その確かな実力とバラエティに富んだ演目で、アメリカ、フランス、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、コロンビア、メキシコ、韓国、日本や香港、マカオ、台湾など、十数の国家と地域で公演し、交流公演や商業公演の任務を果たし、幅広い観客の賞賛を浴びた。これによって、中国の優秀な民族文化の伝達や普及、中国と海外との交流の拡大、友好関係の増進、兩岸関係の改善に重要な貢献をも果たしている。